

授業科目等の概要

(服飾専門課程 服装科) 2024年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			服装造形論 I		1・通年	120	4	○		○		○		
2	○			服装造形デザイン I	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品製作を通し服飾造形基礎知と服作りの技術と理論の習得 ・ 立体的裁断基礎知識の習得 	1・通年	90	3			○	○		○	
3	○			服装造形パターンメイキング I	<ul style="list-style-type: none"> 1. 服装造形概説・縫製の基礎 2. 体型研究 3. 一重スカート 4. シャツブラウス 5. パンツ 6. 総裏スカート 7. ワンピースドレス 8. 子供服 * 細目ごと一般知識・デザイン・作図・縫製・発表会を行う	1・通年	120	4			○	○		○	
4	○			服装造形ソーイング I		1・通年	330	11			○	○		○	
5	○			服装造形ドレーピング基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 立体的裁断基礎知識の習得 1. 罫ディ準備 2. 図カート3種 	1・後期	30	1			○	○		○	

6	○		自由研究	・服装造形に関わるテーマに基づき各自の目標に合わせ研究する ・個々の能力に合わせ知識・技術の向上を目指す	1・ 通年	30	1				○	○		○		
7			○ 制作実習 a	レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を目指す	1・ 通年	30	1				○	○		○		
8		○ 制作実習 b	1・ 通年		30	1				○	○		○			
9		○ 制作実習 c	1・ 通年		30	1				○	○		○			
10	○		服飾デザイン論 I	服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的な知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。	1・ 通年	60	2			○		○		○		
11	○		ファッションデザイン画 I	人体のプロポーション及びポーズと衣服の関連を把握し、デザインの構造を明確に描く事が出来るよう指導に努める。 基礎技法を中心に学生個人の感性を尊重し、創意工夫のあるファッションデザイン画を目標とする。	1・ 通年	60	2				○	○				○
12	○		服飾手芸	服飾手芸全般における基礎知識及び技術を習得し、それを基に素材・テクニック・色の組み合わせなどで様々な応用発展させてクリエイティブな力を養うことを目標とする。	1・ 通年	30	1				○	○		○		

13	○		西洋服装史	古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。	1・通年	60	2	○		○	○								
14	○		アパレル素材論 I	アパレルの主素材である布地の種類と性能の基本を理解させ、応用力をつけさせることを教育目標とする。 布地を理解し扱うためには、その構成要因となる繊維、糸、織、編、レース、染色、加工などの種類、性質などを知り、それらを複合的に捉える必要がある。よって授業は体系的に進め、講義だけではなく実験や演習を含め理解を促し実践的なものにする。	1・通年	60	2	○		△	○							○	
15	○		クロッキー	様々なものの見方を通じ、描写の楽しさを再認識する事と合わせ、創造力を伸ばす為の観察力・イメージを見る側に伝える為の基本描写力・着装画の土台となる立体造形の描写力向上を目的とする。	1・通年	30	1			○	○							○	
16		○	英会話 a	基本的な文法知識を持っている学生対象の会話のコース。日常生活やファッションに関する事例からトピックを選び、関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、ディクテーション、英作文などを組み込んだ構成とする。	1・後期	30	1			○	○								○
17	○		就職対策講座 I	・社会人と学生の違いを認識し、就職に関して早期に関心を持ち就職活動ができるようにする ・就職活動に必要な実践教育を通して「就職力」の強化につなげる	1・通年	30	1			○	○								○
18	○		特別講義 I	・ファッション業界の各分野の幅広い知識と技術を習得し、各自の進路を考える動機付けを目標とする ・レギュラー授業において包括できない部分の専門関連分野の知識を習得する	1・通年	30	1	○			○								○
19		○	コラボレーション a	・各企業とのかかわりを持つことにより、企業での実務を知り就職への動機付けを目的とする ・課外活動への積極的参加を推進することにより各自の専門性を強化する	1・通年	30	1			○	○								○

学年合計				14科目	1,080単位時間（36単位）													
20	○		服装造形論Ⅱ	<p>トレンドやファッションビジネスを考慮しつつ、オリジナル性を追求したデザイン発想を行う。1年次の平面裁断の基礎を踏まえ、応用発展した平面裁断と立体裁断のテクニックを学習する。新たなアイテムを制作する事により、更なる縫製技術の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 立体裁断（スカート2種） * 立体裁断（胸ぐせダーツ3種） * 胸ぐせバリエーション（平面） * グレーディング * カジュアルウェア（一重仕立て） * 立体裁断（ブラウス・衿3種） * バザー作品 * 立体裁断（3面ジャケット） * ウィンターコート * フォーマルウェア（1/2制作） * 卒業制作 * 子供服・一般知識 * 補講・調整（質疑応答） 	2・ 通年	90	3	○				○			○			
21	○		服装造形デザインⅡ		2・ 通年	90	3					○	○			○		
22	○		服装造形パターンメイキングⅡ		2・ 通年	120	4					○	○			○		
23	○		服装造形ソーイングⅡ		2・ 通年	120	4					○	○			○		
24	○		服装造形ドレーピングⅠ		2・ 通年	120	4					○	○			○		
25	○		量産技術実習Ⅰ		2・ 前期	30	1					○	○			○		

26			○ 制作実習 d			1・ 通年	30	1			○	○	○				
27			○ 制作実習 e	レギュラー授業での課題以外に自由な作品制作を行う事で学生の自主性と創造性を伸ばす事を目指す		1・ 通年	30	1			○	○	○				
28			○ 制作実習 f			1・ 通年	30	1			○	○	○				
29	○		服飾デザイン論Ⅱ	1年次「服飾デザイン論Ⅰ」で習得した色彩・形態の基礎をベースに、ファッションデザインにおけるカラーコーディネーションの応用、イメージ分析、デザイン展開、ヴィジュアル表現についてより実践的に学習する。		2・ 通年	30	1	○		○	○					
30	○		ファッションデザイン画Ⅱ	基本となる衣服の構造、デザインを明確に表現することに加え、就職試験に向けた早描きのテクニックを身に付ける。個々のレベルに合わせた個別指導を行い、一人一人の個性を活かしたファッションデザイン画を描けるようにする。		2・ 通年	60	2			○	○	○				
31	○		アパレル品質論	テキスタイルやアパレルの企画、製造、販売における品質管理に関する知識を習得し、「関連する法律を遵守する」「お客様の要求品質を満たす」ための活動ができることを目標とする。講義と演習により理解を深める。		2・ 後期	30	1	○		○	○					
32	○		服装解剖学	解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体に関する基礎知識を学習させる。人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識する方法を学ばせる。		2・ 前期	30	1	○		○	○					
33	○		ファッションビジネス概論	●現代ファッション産業における必要とされる基礎的ビジネス概要を、アパレル社会側見た現状、又は問題点などを講義 ●今後、現代アパレル社会が求める人材、必要とされる基礎知識・基礎能力を高める		2・ 前期	30	1	△	○	○			○	○		

34	○		グラフィック ワーク基礎	ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身につけると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。デジタルファッション画、カラージュ画像、テキスタイル図案の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。	2・ 通年	60	2	△	○	○	○								
35	○		服飾手芸 (応用)	1年時に習得した服飾手芸全般における基礎知識を基に更に新しい技術を習得してよりクリエイティブな力を身に付けることを目標とする。	2・ 半期	30	1		○	○	○								
36	○		ニットィング	ハンドニットの一般知識(素材・道具・編み地)と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。	2・ 半期	30	1		○	○	○								
37	○		絵画・クロッキー	絵画表現における理論と観察の両面から、人体を中心とした立体のモチーフの描写力・認識力を習得する。 速写的に対象を捉えて描写する技法である「クロッキー」を起点とし、観察を重視して、描画における多様な技術を、様々な素材を用いた制作を通じて探求する。学生の能力、要望に応じて内容・課題は適宜変更提案する	2・ 半期	30	1		○	○	○								
38	○		CAD基礎	アパレルCADを利用したパターンメイキングに対する基本的なスキルを身につけることを目標とする。平面作図に始まり、スキャナ入力、有り型展開、工業用パターンメイキング、マーキング等を履修する。CAD基礎レベルの履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。服飾専攻科 技術専攻、デザイン専攻、オートクチュール専攻への進学予定者は受講不可とする。	2・ 半期	30	1		○	○	○								
39	○		カメラワーク	スマートフォンを使ってプロの技術と知識を実習を交えながら楽しく学ぶ 学生が作品撮りなどで困っている事や、うまく撮影できないポイントを改善する 人物、小物、衣類などを一般レベルより高いクォリティーで撮影できるようにする 専門的な機材を持っていなくても、自分のスマートフォンなどで綺麗に撮影できる技術を身につける	2・ 半期	30	1		○	△	○								

40		○	アクセサリ I	服飾におけるアクセサリの基礎知識を学び、それぞれの技術を基にして素材・テクニック・造形・色の組み合わせを習得。普段使いできるアクセサリからショー等の舞台でも映えるようなアクセサリの知識習得・制作を目標とする。	2・ 半期	30	1				○	○		○		
41		○	帽子 I	・帽子の一般知識を習得 ・各自のオリジナルパターンを用いて布帛帽子2作品を製作する。 ・実習を通して、素材に適したデザイン・技法など帽子制作の基礎知識を学ぶ。 ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ。	2・ 半期	30	1				○	○				○
42		○	染色	染色に関する基礎的な知識と技法を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレル他教科の制作物に応用展開できる能力を養う。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。	2・ 半期	30	1				○	○				○
43		○	ヘア・メイク	ファッションとヘアメイクのトータルコーディネートを意識し、よりファッションを活かすメイク知識と技術を身に付ける。更に自分自身の見せ方、製作した作品の見せ方などさまざまな表現方法を学ぶことを目標とする。	2・ 半期	30	1				○	○				○
44		○	コンテスト画	コンテストに求められるデザインのアイディアを具体的な理論と技能で伝える実力を育成する。	2・ 前期	30	1				○	○				○
45		○	マーケットリサーチ	ショップ・WEBなどの調査を通してリサーチスキルを習得する。ファッション業界を理解し業態別のリサーチを行うことで、それぞれの特徴を理解する。	2・ 後期	30	1				○		○			○
46		○	英会話 b	基本的な文法知識を持っている学生対象の会話のコース。日常生活やファッションに関係する事例からトピックを選び、関連した英語表現を学ぶ。文法事項の復習と補充、ロール・プレイを通じた会話練習、ディクテーション、英作文などを組み込んだ構成とする。	2・ 後期	30	1				○		○			○

47	○		就職対策講座Ⅱ	就職に必要な情報収集・事前準備とプレゼンテーション・コミュニケーション能力の向上を目指す 就職対策の講義・実習を通し、就職を意識した行動力・実践力を養う	2・通年	30	1	○		○		○	
48		○	コラボレーションb	外部団体、企業とのコラボレーションに参加し、知識と技術の向上・社会人としてのキャリアアップを図る 仕事の進行・プレゼンテーション方法・人間力・コミュニケーション力を身につけ、個々の可能性を発見する	2・通年	30	1			○		○	
49	○		校外研修	歴史的建造物や伝統文化に触れ感性と美意識を磨く 団体行動を行う事で協調性・社会性・人間性を向上させると共にクラスメートと交流を深める 現地でより理解度・見聞を深める	2・後期	30	1			○		○	○
50	○		特別講義Ⅱ	アパレル関連の幅広い知識・技術を身につける。	2・通年	30	1	○			○		○
51		○	インターンシップa	将来のキャリアを視野に入れ、業界・業態・職業自体の理解を深めることを目指す	2・通年	30	1			○			○
52	○		卒業研究・創作	卒業制作ショー準備・自由研究 ショー企画・企業研究など	2・後期	120	4			○	○		○
合計				18科目	1,080単位時間 (36単位)								
総合計				32科目	2,160単位時間 (72単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	最終学年の修了、卒業必須単位数の取得	1学年の学期区分	2期
履修方法：	単位の取得、出欠席状況、課題提出・試験などにより評価をうけ修了すること	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。